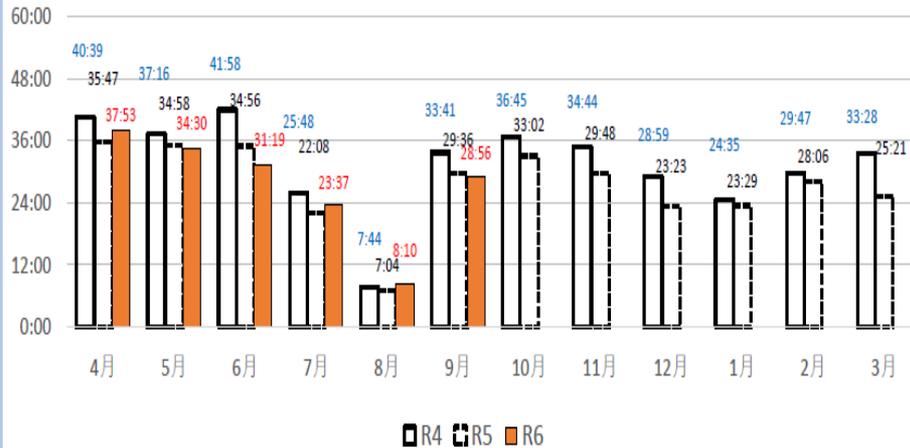


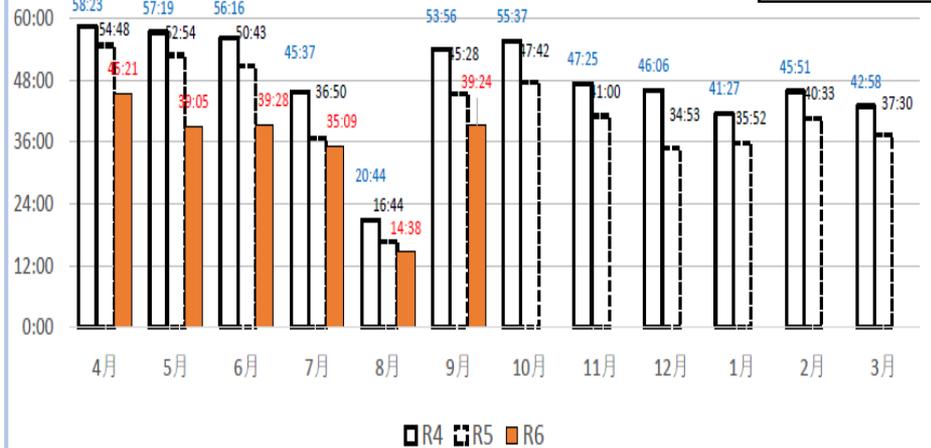
守口市立学校における働き方改革について

1. 現状（教職員一人あたりの月別時間外勤務時間）

小学校等（守口市）



中学校等（守口市）



月平均の時間外勤務時間の全国との比較（令和4年度）

小学校			中学校		
全国	守口市	守口市（R5）	全国	守口市	守口市（R5）
45：00	31：12	27:18	50：20	47：45	41：15

※全国の数値は令和4年10月11月を平均したもの

年次休暇平均取得日数（令和4年度）

小学校		中学校	
全国	守口市	全国	守口市
13.6日	14.8日	10.7日	12.6日

2. 特に効果がみられた取組み

部活動における標準活動時間の設定（R6.4～）

- ・平日は1時間
- ・休日はなし

（アンケート結果）

- ・実施後、時間外勤務時間が月平均7時間23分減少（R6.4～9）
- ・教員、生徒ともに「早く退勤／帰宅できるようになった」と回答した割合が高かった
- ・約7割の教員が「家族を犠牲にしてまで指導すべきではない」、「心身を損ねてまで指導すべきではない」と回答

夏季休業中の学校閉庁日の期間延長

- ・これまでの8/13～17（5日間）の前後に休暇促進期間を設定
→8/7～20（14日間）

（アンケート結果）

- ・80%以上の教職員が良い取組みであると評価
- ・約36%の教職員が14日連続で休暇を取得
- ・経験年数の浅い教職員ほど、取組みに対し肯定的
- ・閉庁期間に出勤した理由では「教材研究」が最も多い（27.9%）

- ・冬季休業中も実施予定

その他の取組み

- 学校・家庭間のデジタル連絡ツール導入（R5.4～）
 - ・「欠席連絡」のデジタル化。24時間受付。「連絡」「おたより」は原則デジタル化。
- 音声メッセージによる電話対応（R6.2～）
 - ・勤務時間以外の電話は音声メッセージで対応。緊急な連絡が必要な場合は、学校専用オペレータが対応。
- スクール・サポート・スタッフの配置拡充（R6.4～）
 - ・授業準備補助や電話対応等を担当。
 - ・小学校には各1人、中学校には各2人を配置。

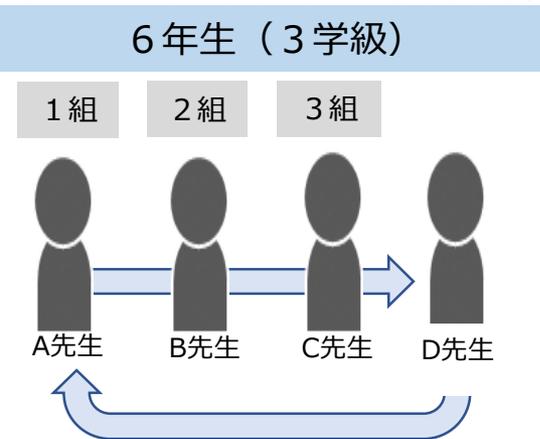
資料3

3. 教科担任制・学年チーム制

◆教科担任制（R6：錦小学校）

6年生 (3学級)	担当教科	単元ごとに 輪番する教科	実施前の 授業数	実施後の 授業数
A先生	図・家	道徳	26h	16h
B先生	体育		26h	13h
C先生	社会		26h	13h
D先生 (府加配)	国語	—	—	15h
E先生 (府加配)	算数	—	—	15h

◆学年チーム制の例（R6：寺方南小学校）



1. 担任業務を毎日ローテーション
2. 朝礼、給食指導、終礼等の業務を4人で分担
3. 教材研究の分担

（授業時間数の減少はない）

4. 効果

授業の質の向上と人材育成

- ・担当する持ち時間と教科数が減少することにより、時間的な余裕ができ、教材研究にあてる時間が増加
- ・授業のない時に、学年で授業を相互に見合うことができ、経験のある教員や専門性の高い教員の授業実践を学べる
- ・全教科をいちから準備する必要がなく、同じ内容の授業を複数回行うことで質が高まる
- ・教科を分担することにより、担当する教科の教材研究が深まる
- ・ベテラン教員が作成した教材を共有することで経験の浅い教員の授業力が高まる(寺方南小学校)

担任業務の負担減少

- ・空き時間の増加により、時間的・心理的余裕ができた
 - ・昼休憩が取りやすくなる
(職員室で給食を食べることができる)
 - ・休暇の予定が立てやすく、取りやすい
- ・これまで担任が全て担っていた（担任がするものとされていた）宿題や個別日誌のチェック等の業務を分担できた
- ・教材研究の分担により、時間に余裕ができた

多面的な児童生徒理解

- ・一人の子どもに対して、多くの教員が関わるため、トラブル等の「抱え込み」の防止につながる
- ・共有する内容が増えるため、教員間のコミュニケーションが増加
- ・子どもや保護者にとって相談できる教員が増え、安心感が向上
- ・事案に対し、子どもと教員の相性を考慮して対応できる（円滑な対応）

5. 今後の方向性

前回の総合教育会議では

- ・実施校の取組みをもとに、加配（府・市費）を活用して将来的に全校へ横展開をめざす

令和6年10月 学校長へヒアリングを実施

- ・教科担任制、学年チーム制について学校長の実施計画を市教育委員会が聴き取り
- ・各校の状況をもとに、加配（府）配置を検討

令和7年4月（予定）

- 【教科担任制（小学校）を実施】小学校5校
- 【学年チーム制を実施】小学校8校・中学校2校

府の加配、市費教員を活用し、今後、全校実施へ